

平成 21 年度

自主防災だより

～「自主防災の活動事例」～

マンション型防災活動の紹介

～厚別区パークアベニュー防災協議会の取組～

厚別区パークアベニュー防災協議会では、独自に防災マップ及び「アベニュー防災だより」の作成・配布、防災訓練（避難はしごを取り入れたもの）、防災講習会を定期的に行っています。

< 災害時要救護者名簿 >

今年度の災害時要救護者名簿の作成は、8月に取り組み66通の提出がありました。この名簿は個人情報保護法に基づき十分留意して取扱い、災害発生時の緊急対策以外には使用しないものです。

なお、何かの都合で提出できなかった方、あるいはその後に必要が生じた方は、随時管理センターにお申し出ください。

< 防災訓練 >

今年度の防災訓練は9月26日（土）午前10時から実施しました。内容は例年の防災パネル、非常食見本展示、AED講習のほか、避難はしごの使い方、ロープの結び方などあらたに実施しました。



ロープの結び方



避難はしごを使っでの訓練



消火器の使い方



使い捨て担架の訓練



心臓マッサージ 人工呼吸

（「アベニュー防災だより」より抜粋）

■□■ 避難完了プレート ■□■

災害発生時の対応用に避難完了プレートを作成しました。使用することがないことを祈っていますが、別封筒でお配りしますので、封筒に表示されている方法で使用されますようお願いいたします。なお、このプレートはマグネット式ですので、そのまま貼り付けてください。

- ・平常時……玄関ドアの内側に貼付し保管
- ・非常時……玄関ドアの外側に貼付し避難
- ・転居時……平常時のままにして転居

< 次ページへ続く >

- その他、独自活動として、
- ・各エレベーターの入口毎に、「使い捨て担架」の備え付け
 - ・「避難完了プレート」の作成・全戸配布
 - ・備蓄用飲料水の全戸配布
 - ・「緊急要援護者名簿」及び「緊急時医療専門支援者名簿」の作成
- を行い、想定される災害に対し、住民のスムーズな避難・避難未完了者の容易な確認・万一の際の医療従事者の把握等、考えられる限りの万全な体制を確立しています。



災害時要援護者名簿

パークアベニュー防災協議会 会長 殿
 パークアベニュー防災協議会災害時要援護者名簿作成・運用・保管要領第4条第1項に基づき下記のとおり届け出します。(記入年月日：平成 年 月 日)

住 居 区 分				防災協議会使用欄	
宅・武・参 番 館	A・B・C・D・E	コート	号室	備考	
氏名(ふりがな)	続 柄	満 年 齢	要援護者	災害発生時の緊急連絡先および電話番号	
	本人		・車椅子 ・独 居	・自力歩行困難 ・寝たきり ・その他()	緊急連絡先 連絡先電話 携帯電話
			・車椅子 ・独 居	・自力歩行困難 ・寝たきり ・その他()	緊急連絡先 連絡先電話 携帯電話
			・車椅子 ・独 居	・自力歩行困難 ・寝たきり ・その他()	緊急連絡先 連絡先電話 携帯電話
			・車椅子 ・独 居	・自力歩行困難 ・寝たきり ・その他()	緊急連絡先 連絡先電話 携帯電話
			・車椅子 ・独 居	・自力歩行困難 ・寝たきり ・その他()	緊急連絡先 連絡先電話 携帯電話

- ※ 記載(届け出)上の留意事項 家族構成で書ききれない方の氏名等は防災協議会使用欄・備考に記入してください。
- 1 要援護者とは、災害等が発生した場合に自力で避難することが困難な方、一人での避難が困難なお年寄り及びお子さんをいいます。これらに該当する方がいる場合は、要援護者欄に「○」印を記入してください。続柄は世帯主から見て(世帯主=本人、妻、子、母、父、同居人等と記入)
 - 2 緊急連絡先は、災害発生時に要援護者に関わる世帯主等の所在を確認するための連絡先ですので、勤務先、学校名等を記入してください。また、電話番号はできるだけ携帯電話の番号も記入してください。
 - 3 摘要欄には、自力で避難できない事由に「○」印を記入してください。該当項目がない場合は、その他の欄に記入してください。
 - 4 この名簿の提出は強制するものではありませんが、提出がない場合は、要援護者の居住がないものとして扱うこととなります。
 - 5 この名簿は、パークアベニュー防災協議会災害時要援護者名簿作成・運用・保管要領「第2条」に記載してあります「災害時発生時等の緊急対策以外の目的」には使用しません。

緊急時医療専門支援者名簿

災害時発生時等の緊急対策の一環として医療専門支援者の名簿を作成することとなりました。名簿は災害時要援護者名簿と同様の管理とし、緊急対策以外の目的には使用しません。ご協力できる方は該当のものに「○」印のご記入をお願いいたします。

氏 名	住居区分		番 館		コ ー ト		号 室	
	医 師	介 護 士	現 役	経験あり	現 役	経験あり	現 役	経験あり
医療専門内容	医 師	介 護 士	現 役	経験あり	現 役	経験あり	現 役	経験あり
経 験 内 容	現 役	経験あり	現 役	経験あり	現 役	経験あり	現 役	経験あり

実践的・継続的な防災訓練を実施

～ 北区新琴似西連合町内会の取組～



新琴似西連合町内会は、平成21年8月28日に、北区役所・北消防署と共同で北区防災訓練を実施しました。各単位町内会の自主防災組織に属する住民約200名が、防災資機材の取り扱い、心臓マッサージ・人工呼吸・AED(自動体外式除細動器)による心肺蘇生法、応急担架の組み立て・搬送体験などを交代で行いました。

< 次ページ下段へ続く >

厳寒期に備え「冬の震災体験」を実施

～ 中央区豊水地区連合町内会共同自主防災会の取組～

豊水地区連合町内会共同自主防災会では、厳寒期に大規模な災害が発生したことを想定し、平成21年2月25日に、豊水まちづくりセンター・中央消防署などと連携し、「冬の震災体験」を行いました。自主防災会に属する住民が、屋外で落雪等による雪山からの救出訓練や消火訓練、屋内でAED（自動体外式除細動器）を用いた応急救護訓練や自主防災資機材の使用体験などを交代で行いました。



また、平成21年9月1日に行われた札幌市総合防災訓練では、会長をはじめとする豊水地区連合町内会共同自主防災会がリーダーシップを発揮するなど中心的な役割を果たしました。



< 前ページ下段からの続き >

このほかにも、連合町内会として防災訓練、普通救命講習会等を実施しており、この継続的な活動を通して、単位町内会においてもそれぞれ自主防災活動を実施しています。



D I G・まち歩きを実施、地区防災マップを作成

～白石区白石地区連合町内会の取組～

白石地区連合町内会では、平成20年度から、計画的に全町内会でD I G(災害図上訓練)及びまち歩きを実施し、このD I G及びまち歩きで作成した地図を基に、防災マップを作成し、順次全世界帯に配布しています。平成21年度中にはすべての町内会で終了する予定です。



平成21年度札幌市防災表彰式・自主防災セミナー2010を開催

～平成22年1月15日(金) 北海道経済センター8階札商Bホール～

今年度の札幌市防災表彰式では、下記10団体が受賞し、市長が表彰状を贈呈しました。

- 中央区 豊水地区連合町内会共同自主防災会
- 北区 新琴似西連合町内会
- 東区 札幌地区自治連絡協議会
- 白石区 白石地区連合町内会
- 厚別区 パークアベニュー防災協議会
- 豊平区 西岡二区北斗町内会
- 清田区 こもれびの街町内会
- 南区 野々沢町内会
- 西区 発寒北連合町内会
- 手稲区 稲積安全・安心まちづくり協議会



また、第2部の自主防災セミナー2010では、元HBCアナウンサーの松永俊之氏をセミナー講師として迎え、「であい、ふれあい、いたわりあい」～ラジオはカイロよりあったかい～をテーマに講演しました。

